

事例1-7

取組名	町会役員の負担軽減と担い手の確保		
町会名	長丘町会（芳川地区）	町会 データ	・人口／369人 ・世帯数／203世帯 ・高齢化率／27.37% ・町会加入数／113世帯 ・隣組数／13組
取組概要	○ 役員の負担軽減、現役世代でもできる体制づくりを検討し、役員任期为1年に見直した。 ○ 役員をフォローする体制を構築		

背景・課題

- ・ 当町会は、市の造成事業が行われた当初からの居住者が、第1世代で現在80代前後、第2世代で50代前後になっている。
- ・ 町会では少子高齢化が進み、町会長は前任が4年、前々任は6年と長く、後任者の選出に苦慮していた。
- ・ 現在、60代後半の人が町会にほとんどいない状況で、年齢を現役世代にまで下げないと町会長等を選出できない状態だった。
- ・ 「何かしら役員を担わないといけない」という雰囲気は町会の中にある。第2世代の50代前後の世代は、小学校や中学校が一緒に、横のつながりも維持している。第2世代の子どもである20代前後の第3世代も仲が良く、みんな顔見知りになっている。そのため町会としてのまとまりは良い。町会未加入者はなく、2つあるアパートも町会加入している。

経過・取組内容

- ・ 今後の町会の在り方について話し合うため、町会長が発起人となり、当時50代前後の町会居住者15人でグループを作った。これからの町会運営について、現役世代が役を受けられる方法等について検討した。その結果の一つとして、町会長等の役員任期为1年とした。
- ・ 組長が、防災や安協等の地区関係役員を兼務することとした。次期組長の皆さんには、事前に組長と役員任期为全て同じ事を理解いただき、組長各自の事情も伺い考慮したうえで、役員の業務内容を明確にして個別に頼んでいる。
- ・ 11月頃から役員選出作業を始め、新旧の組長で顔合わせをし、グループラインを作る。12

月には各戸へ依頼に行く。アポは、LINEを使用。

- ・ 役員の仕事自体は減ってはいるので、負担が少ないと感じてもらえれば担ってくれる。

成果・今後の展望等

- ・ 中には、役員が出来ない理由を言う人もいるが、1年であれば、ある程度の人を受けてくれる。お願いに行くのは50代が多いが、「同じ年代が担わないといけない」と言う人もいて、役員を受けるつもりになってくれている。
- ・ 役員の負担軽減する一方、住民どうしの気寄りを良くしていく取組みも必要で、今後は両面の土壌を耕していく必要がある。
- ・ 当時の50代で作ったグループは、「アラウンドフィフティ長丘町」として20人で継続している。うち15人は、組長などを2～3年のうちに経験しており、1年で交代する役員の相談にのる等の支援を担うとともに、町会活動の核になっている。



【ポイント】

- ▼ 役員受け手の確保のため、あえて任期为1年にしたうえで、補完する体制を整備